

Tenko-PRO2 設定ガイド

目次

1. 注意事項.....	6
2. 動作環境.....	8
3. 設定の手順.....	9
(1). 必ず必要な設定.....	9
(2). 点呼に必要な設定.....	9
4. ユーティリティを起動する.....	10
5. 設定する.....	11
(1). ユーティリティ画面.....	11
(2). 点呼設定.....	12
◆所属運用設定.....	12
◆血圧運用設定.....	12
◆確認事項表示.....	13
●点呼方法選択.....	13
●乗務種別選択.....	14
●車番入力.....	15
●酒気帯び判定.....	16
●質問事項.....	17
●伝達事項（乗務前）.....	18
●指示事項（中間）.....	19
●報告事項（乗務後）.....	20
●備考.....	20

◆点呼時刻	21
◆データ保存	21
(3) . 点呼記録簿設定	22
◆点呼記録簿表示項目	22
◆表示方式	23
●点呼結果の紐付け	23
(4) . CSV 設定	24
◆サーバー・クライアントでの CSV 出力	24
◆ビューワでの CSV 出力	24
●CSV 出力項目	25
(5) . パスワード設定	25
◆パスワード	25
(6) . 接続設定	26
◆通信ポート設定	26
(7) . 録画・映像設定	26
◆デバイス設定	26
◆映像表示	27
◆動画録画	27
●動画保存	28

(8) . サーバー設定.....	29
◆点呼執行者登録	29
◆運用設定	29
●呼出し設定	30
●点呼待ちリスト自動接続	30
●呼出し灯	31
●点呼終了確認	31
◆点呼予定者リスト	31
●アラート設定	32
●点呼済みデータの表示	32
◆他システム連動	33
◆交換機設定	33
●振り分け設定	34
(9) . クライアント設定	36
◆運用設定	36
●接続先拠点登録	36
●IT 点呼呼出し時の設定	37
●点呼完了通知	37
●複数台接続	38
●質問項目の同期	38
●他システム連動 CSV 出力	39
◆交換機接続設定	39

(10) . 点呼予定者リスト作成.....	40
◆点呼予定者選択	40
◆点呼予定者リスト.....	41

1. 注意事項

ソフトウェア使用許諾契約書

東海電子株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に、ソフトウェア（以下「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

第1条 権利

本ソフトの著作権は、弊社に帰属します。お客様は、本ソフトおよびそのアップデートやバージョンアップの使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条 第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトおよびコピーしたものすべてまたはその一部を第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条 複製

お客様は、本ソフトの全部もしくはその一部をこのたびご購入いただいた弊社製品を接続するコンピュータ上での使用のためにのみ複製することができます。ただし、同一法人かつ同一事業所内に限ります。

第4条 変更及び改造

本ソフトの解析、変更または改造は禁止します。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また、解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。

第5条 免責

1. 弊社は、本ソフトが全てのアプリケーションソフトからのアウトプット（印刷等）をいかなる条件下でも常に正しく行うこと、全てのアプリケーションソフトが常に動作すること、及びアプリケーションソフトの全機能を満足することを保証するものではありません。
2. 弊社は、本ソフトのご使用によりお客様が失った利益やデータに対する損害等、いかなる損害についても責任を負いません。
3. お客様がご使用のオペレーティングシステムをバージョンアップされた場合に、お客様は本ソフトの一部がお客様のご使用のコンピュータ上で作動しないことがあり得ることを、あらかじめ了解し、弊社に対してその責任を問わないものとします。

第6条 輸出規制

お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトおよびその複製物を違法に日本国外に輸出してはなりません。

第7条 契約解除

お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。お客様は本契約が終了したときは、直ちに本ソフトおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

第8条 サードパーティ

本ソフトとそのアップデートやバージョンアップには、サードパーティが保有する著作権により保護されたソフトウェアコンポーネントが含まれている場合があります。こうしたソフトウェアコンポーネントはサードパーティにより別途ソフトウェアライセンスに基づいて使用許諾されています。そのため、サードパーティのソフトウェアライセンスの利用規約は、該当するソフトウェアコンポーネントの使用時に適用されるものとします。本契約は、当該ソフトウェアライセンスに基づいてユーザーが有するいかなる権利や義務を変更するものではありません。

1. 注意事項

■その他注意

Tenko-PRO2 設定ガイドおよび操作ガイドおよびインストールガイド（以下「本書」といいます）の記載内容については予告なく変更・改訂する場合があります。

本書の内容は著作権法によって保護されています。本書の内容の一部または全部を、東海電子株式会社に無断で複写・転載などを行うことは法律で禁じられております。

■記載する登録商標について

Microsoft®は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本その他の国における商標または登録商標です。
Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本その他の国における商標または登録商標です。

※そのほか本書に記載された会社名・製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

2. 動作環境

【対応CPU】

- Intel® Core™ i5 シリーズ以降
- ※動作周波数 2.0GHz以上

【オペレーティングシステム[32および64ビット日本語版]】

- Microsoft® Windows® 7 Professional Service Pack 1まで
- Microsoft® Windows® 7 Ultimate Service Pack 1まで
- Microsoft® Windows® 8.1 Pro
- Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise
- Microsoft® Windows® 10 Pro
- Microsoft® Windows® 10 Enterprise

※動画再生にWindows Media Playerを使用するため、上記のOSでWindows Media Playerを使用できる環境が必要になります。

【メインメモリ】

- 32ビットOS：4GB
- 64ビットOS：8GB 以上

【ハードディスク（空き容量）】

- 空き容量 120GB 以上
- ※1点呼を60秒として約3MB（1日×100点呼×1年間）を想定した場合。

【使用デバイス】

- USBカメラ
- マイク
- スピーカー

【接続インタフェース】

- 接続インタフェース：USB2.0以降
 - 必要インタフェース数：1個（カメラ使用時）
- ※必要インタフェース数はTenko-PRO2ソフトウェア単体の必要数になります。
- ※USBハブは使用しないでください。

3. 設定の手順

(1). 必ず必要な設定

サーバーとして運用する場合

点呼記録簿設定	■点呼場所	P22
サーバー設定	■点呼執行者登録リスト	P29
	■運用設定	P29

クライアントとして運用する場合

クライアント設定	■接続先拠点登録	P36
----------	----------	-----

(2). 点呼に必要な設定

質問事項を設定する

点呼設定	■質問事項	P17
------	-------	-----

伝達事項・指示事項・報告事項を設定する

点呼設定	■伝達事項	P18
	■指示事項	P19
	■報告事項	P20

点呼記録簿の表示を設定する

点呼記録簿設定	■表示方式	P22
---------	-------	-----

点呼の通信ポートを設定する

接続設定	■通信ポート設定	P26
------	----------	-----

カメラ・マイク・スピーカーを設定する

録画・映像設定	■デバイス設定	P26
	■映像表示	P27

動画の録画を設定する

録画・映像設定	■動画録画	P27
---------	-------	-----

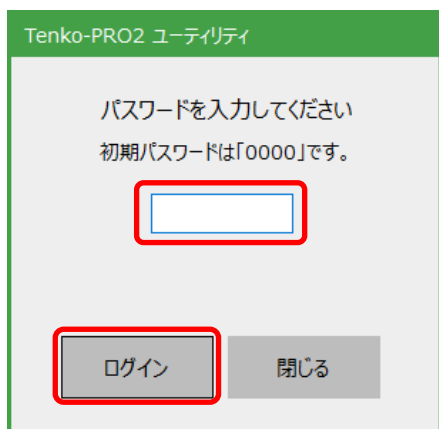
4. ユーティリティを起動する

- ①PC デスクトップ画面のアイコンから起動します。
アイコンをダブルクリックします。



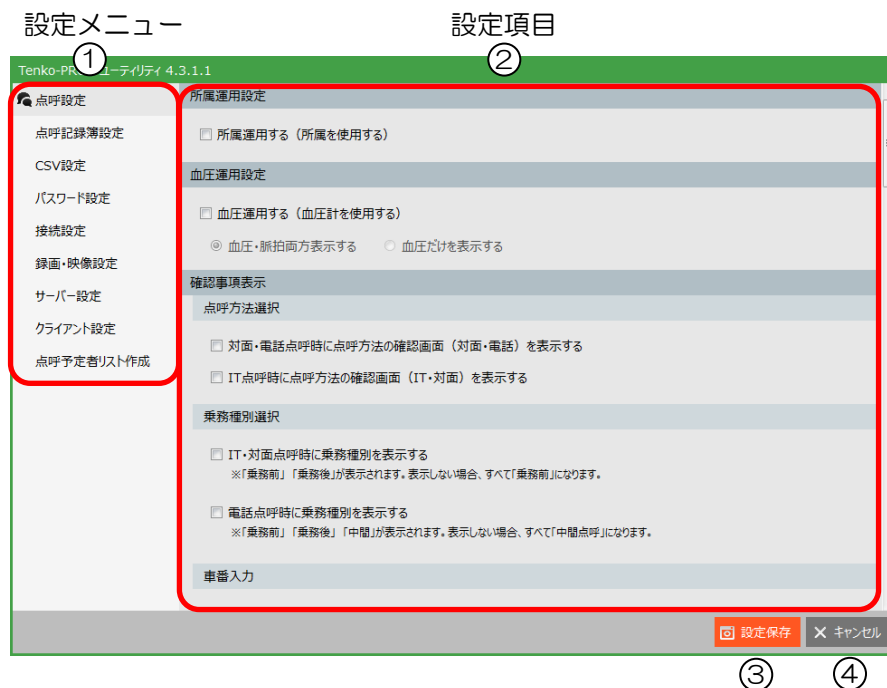
- ②パスワード入力画面でパスワードを入力して［ログイン］ ボタンを押します。
※設定で省略可能です。

※ログインに失敗した場合、「パスワード」が正しいか確認してから
再度ログインをおこなってください。



5. 設定する

(1). ユーティリティ画面



・操作方法

- ①設定メニューから各設定を選択します。
- ②表示された設定項目を設定します。
- ③または④ボタンを押して設定の保存またはキャンセルをします。

■画面説明

- 『設定メニュー』 : 各設定を表示します。
- 『設定項目』 : 各設定の設定項目を表示します。
- 〔設定保存〕ボタン : 設定内容を保存して終了します。
- 〔キャンセル〕ボタン : 設定内容を保存せずに終了します。

5. 設定する

(2). 点呼設定

◆所属運用設定

※ALC-Rec が所属に未対応のバージョンの場合、表示されません。

※ALC-Rec 側の設定については ALC-Rec の取扱説明書を参照してください。



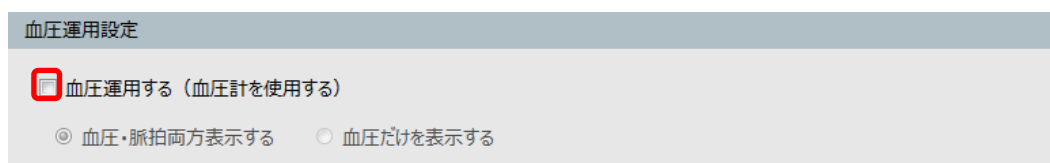
・設定方法

所属の情報を使用して運用する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『所属運用する（所属を使用する）』：サーバー・クライアント・ユティリティ・ビューフに所属運用に必要な項目を表示します。

◆血压運用設定



・設定方法

血压の情報を使用して運用する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『血压運用する（血压計を使用する）』：サーバー・クライアント・ユティリティ・ビューフに血压運用に必要な項目を表示します。

『血压・脈拍両方表示する』：サーバー・クライアント・ユティリティ・ビューフに血压と脈拍の項目を表示します。

『血压だけを表示する』：サーバー・クライアント・ユティリティ・ビューフに血压を表示します。

◆確認事項表示

●点呼方法選択

確認事項表示	
点呼方法選択	
☐	対面・電話点呼時に点呼方法の確認画面（対面・電話）を表示する
☐	IT点呼時に点呼方法の確認画面（IT・対面）を表示する

点呼方法画面（対面・電話）

点呼方法	
どちらの点呼を行いますか？	
対面	電話

（IT・対面）

点呼方法	
どちらの点呼を行いますか？	
IT	対面

・設定方法

各点呼方法確認画面を表示する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『対面・電話点呼時に点呼方法の確認画面（対面・電話）を表示する』：点呼方法を選択する点呼方法確認画面（対面・電話）を表示します。

『IT点呼時に点呼方法の確認画面（IT・対面）を表示する』：点呼方法を選択する点呼方法確認画面（IT・対面）を表示します。

※テレ点呼の点呼時は必ず確認画面（電話・IT）が表示されます。

5. 設定する

●乗務種別選択

乗務種別選択

☐ IT・対面点呼時に乗務種別を表示する
※「乗務前」「乗務後」が表示されます。表示しない場合、すべて「乗務前」になります。

☐ 電話点呼時に乗務種別を表示する
※「乗務前」「乗務後」「中間」が表示されます。表示しない場合、すべて「中間点呼」になります。

※テレ点呼の点呼時に表示しない場合、中間点呼になります。

乗務種別画面

← 戻る 乗務種別

乗務種別を選択してください

乗務前 中間 乗務後

・設定方法

各乗務種別選択画面を表示する場合、チェックを付けます。

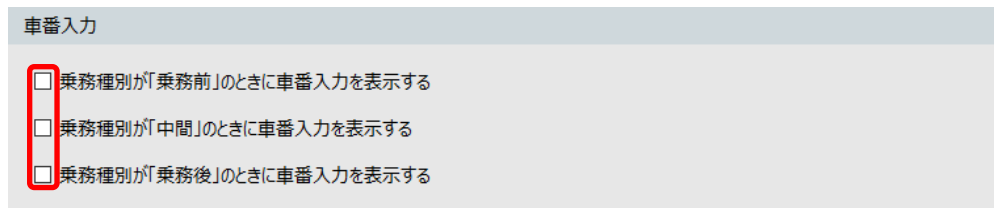
■画面説明

『IT・対面点呼時に乗務種別を表示する』：IT・対面点呼時に乗務種別選択画面を表示します。

『電話点呼時に乗務種別を表示する』：電話点呼時に乗務種別選択画面を表示します。

5. 設定する

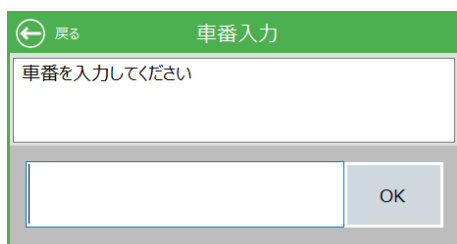
●車番入力



車番入力

- ☒ 乗務種別が「乗務前」のときに車番入力を表示する
- ☒ 乗務種別が「中間」のときに車番入力を表示する
- ☒ 乗務種別が「乗務後」のときに車番入力を表示する

車番入力画面



← 戻る 車番入力

車番を入力してください

OK

・設定方法

車番入力画面を表示する場合、乗務種別ごとにチェックを付けます。

※乗務種別選択画面を省略している場合、乗務前の車番としてあつかわれます。

■画面説明

『乗務種別が「乗務前」のときに車番入力を表示する』：乗務種別選択画面で乗務前を選択した場合に車番入力画面を表示します。

『乗務種別が「中間」のときに車番入力を表示する』：乗務種別選択画面で中間を選択した場合に車番入力画面を表示します。

『乗務種別が「乗務後」のときに車番入力を表示する』：乗務種別選択画面で乗務後を選択した場合に車番入力画面を表示します。

5. 設定する

●酒気帯び判定

酒気帯び判定

☐ 酒気帯び判定を表示する

酒気帯び判定画面

← 戻る 酒気帯び判定

酒気帯びの有無を顔色、話し方から判断してください

○ ×

・設定方法

酒気帯び判定画面を表示する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『酒気帯び判定を表示する』：点呼時に酒気帯び判定画面を表示します。

5. 設定する

● 質問事項

・ 質問事項取込方法

①受信した質問事項があると「質問事項取込」ボタンが表示されます。

「質問事項取込」ボタンを押して質問事項を取込みます。

※送信側と受信側で同じ所属が存在している必要があります。

・ 設定方法

②所属毎に質問項目を分ける場合、チェックを付けます。

③所属を選択します。

④「新規追加」ボタンを押して質問項目を追加します。

⑤質問項目を入力します。

⑥点呼時に表示させたい質問項目にチェックを付けます。

・ 送信方法

⑦質問事項送信先を設定します。

⑧送信に使用するポートを設定します。

⑨「質問事項送信」ボタンを押して送信をします。

※一個所から送信して複数個所で取込みをおこなうと同一の質問項目を設定することができます。

※所属毎に質問項目を分けている場合、所属選択後に画面に表示されている質問項目を送信します。

・ 修正および削除方法

⑩設定済みの質問項目を選択して修正します。「削除」ボタンを押すと削除できます。

※当日すでに点呼がおこなわれていた場合、修正した質問事項は翌日からの適用となります。

■ 画面説明

「質問事項取込」ボタン	： 質問事項を取込みます。
『所属毎に質問項目を分ける』	： 質問項目を所属毎に切り替えます。
『質問項目』	： 設定済みの質問項目を表示します。 質問項目の編集、表示設定、削除ができます。
「新規追加」ボタン	： 質問項目を新規追加します。
『質問事項送信先』	： 質問事項送信先を設定します。
『ポート』	： 質問事項送信に使用するポートを設定します。 ※初期値は 10003 番ポートに設定されています。
「質問事項送信」ボタン	： 質問事項送信先に質問事項を送信します。

5. 設定する

●伝達事項（乗務前）

伝達事項（乗務前）

③ ☐ 乗務前点呼時の伝達事項は常にNO.1の項目を使用する

伝達事項リスト（最大10件）

No.	④ 伝達項目	
1	伝達事項特になし	削除
2	安全運転に努めてください	削除
3	スピードに注意してください	削除
4	天候の変化に注意してください	削除
5	視界不良に注意してください	削除
6	道路状況に注意してください	削除
7	休憩を十分に取ってください	削除
8	お客様満足に努めてください	削除
9	ゆとりのある運行をしてください	削除

① ②

・設定方法

- ① [新規追加] ボタンを押して伝達項目を追加します。
- ② 伝達項目を入力します。
- ③ 乗務前点呼時に No.1 の伝達項目を常に使用したい場合、チェックを付けます。

・修正および削除方法

- ④ 設定済みの伝達項目を選択して修正します。[削除] ボタンを押すと削除できます。

・順番の入れ替え方法

ドラッグアンドドロップ操作で項目の順番を入れ替えることができます。

■画面説明

- 『乗務前点呼時の伝達事項は常に : 乗務前点呼時に使用する伝達項目を No.1 の伝達項目に NO.1 の項目を使用する』 固定します。
- 『伝達項目』 : 設定済みの伝達項目を表示します。伝達項目の編集、削除ができます。
- [新規追加] ボタン : 伝達項目を新規追加します。

5. 設定する

●指示事項（中間）

指示事項（中間）

③ ☐ 中間点呼時の指示事項は常にNO.1の項目を使用する

指示事項リスト（最大10件）

No.	④ 指示項目	
1	指示事項特になし	削除
2	安全運転に努めてください	削除
3	スピードに注意してください	削除
4	天候の変化に注意してください	削除
5	視界不良に注意してください	削除
6	道路状況に注意してください	削除
7	休憩を十分に取ってください	削除
8	お客様満足に努めてください	削除
9	ゆとりのある運行をしてください	削除
① + 新規追加 ②		

・設定方法

- ① [新規追加] ボタンを押して指示項目を追加します。
- ② 指示項目を入力します。
- ③ 中間点呼時に No.1 の指示項目を常に使用したい場合、チェックを付けます。

・修正および削除方法

- ④ 設定済みの指示項目を選択して修正します。[削除] ボタンを押すと削除できます。

・順番の入れ替え方法

ドラッグアンドドロップ操作で項目の順番を入れ替えることができます。

■画面説明

『中間点呼時の指示事項は常に : 中間点呼時に使用する指示項目を No.1 の指示項目に固定します。NO.1 の項目を使用する』

『指示項目』 : 設定済みの指示項目を表示します。指示項目の編集、削除ができます。

[新規追加] ボタン : 指示項目を新規追加します。

5. 設定する

●報告事項（乗務後）

報告事項（乗務後）

③ ☐ 乗務後点呼時の報告事項は常にNO.1の項目を使用する

報告事項リスト(最大10件)

No.	④ 報告項目	
1	報告事項特になし	削除
2	業務・体調・車両とも異常なし	削除
3	道路状況に問題がありました	削除
4	業務において問題がありました	削除
5	体調が不良です	削除
6	車両に異常がみられます	削除
7	顧客クレームがありました	削除
8	事故に巻き込まれました	削除
9	別紙報告書にて報告があります	削除

① ②

・設定方法

- ① [新規追加] ボタンを押して報告項目を追加します。
- ② 報告項目を入力します。
- ③ 乗務後点呼時に No.1 の報告項目を常に使用したい場合、チェックを付けます。

・修正および削除方法

- ④ 設定済みの報告項目を選択して修正します。[削除] ボタンを押すと削除できます。

・順番の入れ替え方法

ドラッグアンドドロップ操作で項目の順番を入れ替えることができます。

■画面説明

『乗務後点呼時の伝達事項は常に : 乗務後点呼時に使用する報告項目を No.1 の報告項目に NO.1 の項目を使用する』 固定します。

『報告項目』 : 設定済みの報告項目を表示します。報告項目の編集、削除ができます。

[新規追加] ボタン : 報告項目を新規追加します。

●備考

備考

備考の登録
(最大50文字)

・設定方法

備考を入力します。

■画面説明

『備考の登録』: 点呼時に使用する備考を登録します。

5. 設定する

◆点呼時刻

点呼時刻	
乗務前	点呼開始時刻 ▼
中間	点呼開始時刻 ▼
乗務後	点呼開始時刻 ▼

- 設定方法
各点呼時刻を設定します。

■画面説明

『乗務前』：乗務前点呼の時刻を点呼開始時刻または点呼終了時刻で記録するかを設定します。
『中間』：中間点呼の時刻を点呼開始時刻または点呼終了時刻で記録するかを設定します。
『乗務後』：乗務後点呼の時刻を点呼開始時刻または点呼終了時刻で記録するかを設定します。

◆データ保存

データ保存	
点呼データ保存期間	1年 ▼
点呼データ保存先	C:¥Program Files¥TenkoPro2¥TenkoProData

- 設定方法
点呼データの保存期間を設定します。
点呼データの保存先を確認します。

■画面説明

『点呼データ保存期間』：点呼データを保存する期間（1年・2年・3年・無期限）を設定します。
※点呼動画と測定写真についてはデータ量が多い為、設定された点呼データ保存期間と関係無く保存期間固定で1年間になります。
『点呼データ保存先』：点呼データの保存先を表示します。
※点呼データ保存先は表示のみで変更はできません。

5. 設定する

(3). 点呼記録簿設定

◆点呼記録簿表示項目

点呼記録簿表示項目

点呼場所（最大20文字）①

押印欄名称（最大10文字）
※点呼記録簿の押印欄の左枠から1→2→3→4の順に表示されます。（最大10文字）

名称1	名称2	名称3	名称4
②			

記録簿の種別 ③

血圧・脈拍表示 ④ ☒ 血圧・脈拍両方表示する ☐ 血圧だけを表示する ☐ 血圧・脈拍両方表示しない

日付設定 ⑤ ☒ 和暦表示 ☐ 西暦表示

点呼結果がない乗務種別の質問事項を表示 ⑥ ☒ しない ☐ する

・設定方法

- ①点呼場所を入力します。
- ②押印欄名称を入力します。
- ③記録簿の種別を設定します。
- ④記録簿の血圧・脈拍の表示を設定します。
- ⑤記録簿の検索期間表示の日付を設定します。
- ⑥質問事項の表示を設定します。

■画面説明

- 『点呼場所』：点呼記録簿に表示する点呼場所を設定します。
- 『押印欄名称』：点呼記録簿と飲酒点検記録表に表示する押印欄名称を設定します。
- 『記録簿の種別』：記録簿を表示する時の種別を設定します。
種別 1…乗務前・中間・乗務後を全て同一ページで表示します。
種別 2…乗務前・乗務後のみを同一ページで表示します。
種別 3…乗務前・乗務後を同一ページで、中間を別紙で表示します。
- 『血圧・脈拍表示』：点呼記録簿に表示する血圧と脈拍を設定します。
- 『日付設定』：点呼記録簿に表示する和暦・西暦を設定します。
- 『点呼結果がない乗務種別の質問事項を表示』
：点呼結果がない質問項目の表示について設定します。

5. 設定する

◆表示方式

表示方式	
表示順	時系列順

・設定方法

表示方法を設定します。

■画面説明

『表示順』：点呼記録簿の表示順を設定します。

時系列順…点呼時刻が早いものから順で表示します。

ID 順…ID の並び順で表示します。

●点呼結果の紐付け

点呼結果の紐付け	
①	☒ 紐付けする ---
②	☐ サーバー側でIT点呼結果の紐付けを行う
	紐付け条件
③	IDのみで紐付けする
④	☒ やり直し点呼と紐付けする
⑤	やり直しとする時間 30分
⑥	☐ 紐付けしない

・設定方法

①紐付けする場合に設定します。

②サーバーの紐付け表示を設定します。

③紐付け条件を設定します。

④やり直し点呼を紐付け条件に設定する場合、チェックを付けます。

⑤やり直しとする時間を設定します。

⑥紐付けをしない場合に設定します。

■画面説明

『紐付けする』：点呼記録簿の点呼結果を紐付けルールに添った表示にします。

『サーバー側で IT 点呼結果の紐付けを行う』

：サーバーの点呼結果を紐付けルールに添った表示にします。

『紐付け条件』

：点呼記録簿の紐付け条件を設定します。

ID のみで紐付けする…ID が同じ点呼結果を紐付けします。

ID と乗務員名で紐付けする…ID と乗務員名が同じ点呼結果を紐付けします。

『やり直し点呼と紐付けする』：チェックを付けるとやり直し点呼の紐付けルールを適用します。

『やり直しとする時間』：やり直し点呼としてあつかう時間の間隔を設定します。

『紐付けしない』：点呼記録簿の点呼結果の紐付け表示をしません。

5. 設定する

(4). CSV 設定

◆サーバー・クライアントでの CSV 出力

サーバー・クライアントでのCSV出力

① ☒ CSVファイルに項目名を付ける

② ☐ 点呼完了ごとにCSVファイルを出力する（サーバー側）
☐ 点呼完了ごとにCSVファイルを出力する（クライアント側）

出力先 ③ 選択

・設定方法

- ① CSV ファイルに項目名を付ける場合、チェックを付けます。
- ② 点呼完了時に CSV ファイルを出力する場合、チェックを付けます。
- ③ [選択] ボタンを押して CSV ファイルの出力先を設定します。

■画面説明

『CSV ファイルに項目名を付ける』：CSV ファイルに出力するデータの先頭行に項目名を付けます。

『点呼完了ごとに CSV ファイルを 出力する（サーバー側）』：サーバーの点呼完了時に CSV ファイルが出力されます。

『点呼完了ごとに CSV ファイルを 出力する（クライアント側）』：クライアントの点呼完了時に CSV ファイルが出力されます。

『出力先』：CSV ファイルの出力先を設定します。

※ファイル名は tenko_YYYYMMDD.CSV 例：tenko_20170215.CSV

◆ビューアでの CSV 出力

ビューアでのCSV出力

☒ CSVファイルに項目名を付ける

・設定方法

ビューアで出力する CSV ファイルに項目名を付ける場合、チェックを付けます。

■画面説明

『CSV ファイルに項目名を付ける』：CSV ファイルに出力するデータの先頭行に項目名を付けます。

5. 設定する

●CSV 出力項目

CSV出力項目				
☒ Index	☒ 乗務員ID	☒ 乗務員名	☒ 営業所	☒ 所属
☒ 測定結果	☒ 測定日	☒ 測定時刻	☒ 測定写真	☒ 証明写真
☒ 免許証残日数	☒ 最高血圧	☒ 最低血圧	☒ 脈拍	☒ 乗務種別
☒ 点呼方法	☒ 車番	☒ 点呼日	☒ 点呼時刻	☒ 点呼動画
☒ 接続先	☒ 点呼執行者名	☒ 質問事項1	☒ 質問事項2	☒ 質問事項3
☒ 質問事項4	☒ 質問事項5	☒ 質問事項6	☒ 質問事項7	☒ 質問事項8
☒ 質問事項9	☒ 質問事項10	☒ 伝達・指示・報告事項	☒ 備考	☒ 酒気帯び判定
☒ 点呼判定	☒ 天候	☒ アプリケーションモード		

・設定方法

CSV ファイルに出力したい項目にチェックを付けます。

※項目の表示順は、Index・乗務員ID・乗務員名・営業所・所属・測定結果・測定日…になります。

■画面説明

『CSV 出力項目』：ビューアで出力する CSV ファイルに出力する項目を設定します。

(5). パスワード設定

◆パスワード

パスワード	
パスワード（数値4桁）	0000
☐	サーバー起動時にパスワード入力画面を表示する
☐	ユーティリティ起動時にパスワード入力画面を表示する
☐	ビューア起動時にパスワード入力画面を表示する

・設定方法

①パスワードを入力します。

②起動時にパスワード入力画面を表示する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『パスワード』：4桁の数値でパスワードを設定します。

『サーバー起動時にパスワード入力画面を表示する』：サーバー起動時にパスワード入力が必要になります。

『ユーティリティ起動時にパスワード入力画面を表示する』：ユーティリティ起動時にパスワード入力が必要になります。

『ビューア起動時にパスワード入力画面を表示する』：ビューア起動時にパスワード入力が必要になります。

5. 設定する

(6). 接続設定

◆通信ポート設定

通信ポート設定	
接続用	
接続用ポート (TCP)	10000
映像	
映像ポート (RTP)	8002
映像ポート (RTCP)	8003
音声	
音声ポート (RTP)	8000
音声ポート (RTCP)	8001

・設定方法

通信で使用する各ポートを入力します。

■画面説明

『接続用ポート (TCP)』：データ通信ポートの設定をします。

『映像ポート (RTP)』：映像ポート (RTP) の設定をします。

『映像ポート (RTCP)』：映像ポート (RTCP) の設定をします。

『音声ポート (RTP)』：音声ポート (RTP) の設定をします。

『音声ポート (RTCP)』：音声ポート (RTCP) の設定をします。

(7). 録画・映像設定

◆デバイス設定

デバイス設定	
カメラ	
使用カメラ	
マイク	
使用マイク	
スピーカー	
使用スピーカー	

・設定方法

Tenko-PRO2 で使用する各デバイスを設定します。

※ALC-Rec で使用するデバイスとは別のデバイスを設定してください。

■画面説明

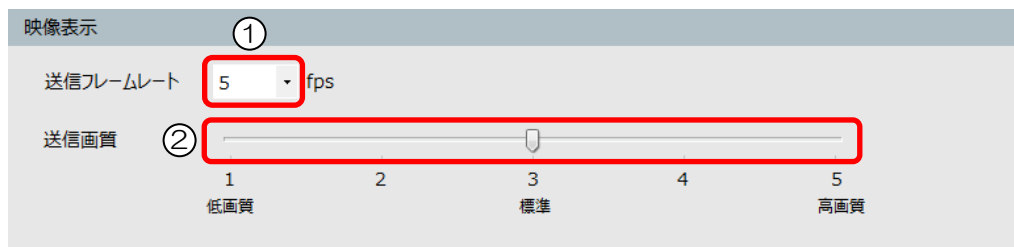
『使用カメラ』：点呼で使用するカメラを設定します。

『使用マイク』：点呼で使用するマイクを設定します。

『使用スピーカー』：点呼で使用するスピーカーを設定します。

5. 設定する

◆映像表示



・設定方法

- ①送信フレームレートを設定します。
- ②スライダーをスライドさせて送信画質を設定します。

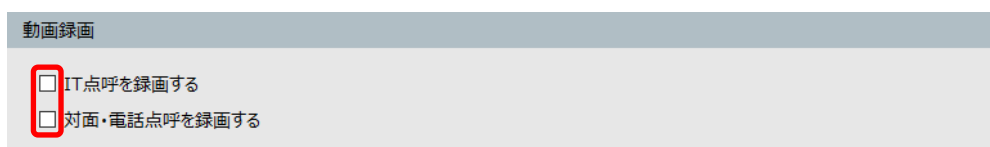
■画面説明 ※画面は初期値の状態です。

『送信フレームレート』：点呼時の送信フレームレートを設定します。

『送信画質』：点呼時の送信画質を設定します。

※数値が大きいほど映像は良くなりますが、PC と通信回線の負荷が高くなります。フレームレートと画質は PC と通信回線の環境に合わせて設定してください。

◆動画録画



・設定方法

各点呼時に録画をする場合、チェックを付けます。

■画面説明

『IT 点呼を録画する』：IT 点呼時に録画をします。

『対面・電話点呼を録画する』：対面・電話点呼時に録画をします。

5. 設定する

●動画保存

動画保存

① 保存フレームレート 5 fps

② 映像コーデック Microsoft Video 1

③ 音声コーデック CCITT u-Law

点呼動画・測定写真保存先 C:\Program Files\TenkoPro2\TenkoProData ④ 選択

※点呼動画・測定写真の保存期間は1年間です。

点呼動画保存先の容量チェック

⑤ ☒ 容量不足時のアラート表示 ⑥ 10%

☒ 古い点呼動画から削除する残量 5%

・設定方法

- ①保存フレームレートを設定します。
- ②映像コーデックを設定します。
- ③音声コーデックを設定します。
- ④〔選択〕ボタンを押して点呼動画と測定写真の保存先を設定します。
- ⑤点呼動画の保存先に対して容量のチェックをする場合、チェックを付けます。
- ⑥各パーセントを設定します。

■画面説明 ※画面は初期値の状態です。

『保存フレームレート』	: 保存する動画のフレームレートを設定します。
『映像コーデック』	: 使用する映像コーデックを設定します。 ※「Microsoft Video 1」以外は選択できません。
『音声コーデック』	: 使用する音声コーデックを設定します。 ※通常は「CCITT u-Law」を使用します。コーデックを変更した場合、コーデックによっては正常に保存できないことがあります。
『点呼動画・測定写真保存先』	: 点呼動画と測定写真の保存先を選択します。 ※変更した場合、これまでビューアで表示されていた写真および動画が表示されなくなる場合があります。
『容量不足時のアラート表示』	: 保存先の空き容量が設定値以下になるとアラートを表示します。
『古い点呼動画から削除する残量』	: 保存先の空き容量が設定値以下になると古い点呼動画を削除して空き容量を確保します。 ※月単位でまとめてファイル削除をします。当月のファイルは削除しません。

5. 設定する

(8). サーバー設定

◆点呼執行者登録

・設定方法

- ① [新規追加] ボタンを押して点呼執行者を追加します。
- ② 氏名を入力します。
- ③ 運行管理者または補助者を設定します。
- ④ サーバー起動時に初期表示する点呼執行者にチェックを付けます。
- ⑤ 他システム連動時に点呼執行者コードを出力する場合に入力します。

・修正および削除方法

- ⑥ 設定済みの点呼執行者を押して修正、[削除] ボタンを押すと削除できます。

■画面説明

『点呼執行者登録リスト』：登録した点呼執行者を表示します。

点呼執行者の編集、選任区分・初期表示・コードの設定、削除ができます。
初期表示のチェックが付いている点呼執行者がサーバー画面に点呼執行者として表示されます。

[新規追加] ボタン：点呼執行者を新規追加します。

◆運用設定

・設定方法

チェックを付けると各点呼機能を使用できます。

■画面説明

『IT 点呼機能を使用する』：IT 点呼を使用する場合に設定します。

『対面・電話点呼機能を使用する』：対面・電話点呼を使用する場合に設定します。

5. 設定する

●呼出し設定

呼出し設定

① 呼出し時間 30 秒

② ☒ 離席中ボタンを表示する

③ 離席中メッセージ (最大50文字) 只今離席中です。しばらくしてから再接続してください。
※離席時に入力したメッセージがクライアント側に表示されます。

④ 呼出し音 音量 大 中 小 その他の音声ファイルを使用する

⑤ C:\Program Files\TenkoPro2\tenko_max.wav

⑥ 選択 再生

・設定方法

- ①呼出し時間を設定します。
- ②サーバー画面に離席中ボタンを表示する場合、チェックを付けます。
- ③離席中メッセージを入力します。
- ④呼出し音の音量を選択します。
- ⑤呼出し音の音量で「その他の音声ファイルを使用する」を選択している時に、[選択] ボタンを押して wav ファイルを設定します。
- ⑥「再生」ボタンを押すと選択したファイルの音声が発動します。

■画面説明

- 『呼出し時間』 : 設定した時間のあいだ、サーバー側に点呼開始の通知を表示します。
設定した時間を経過すると通知が消えて、呼出し履歴が残ります。
- 『離席中ボタンを表示する』 : サーバー画面に離席中ボタンを表示します。
交換機の設定によって使用できない場合があります。(33 ページ参照)
- 『離席中メッセージ』 : 離席ボタンを押すと呼び出したクライアント側に設定しているメッセージを表示します。
- 『呼出し音』 : 呼出し音に使用する wav ファイルを選択します。
音量は「大」「中」「小」「その他の音声ファイルを使用する」から選択できます。音量に合わせてファイルパスが変更されます。

●点呼待ちリスト自動接続

点呼待ちリスト自動接続

☒ 点呼終了時に、点呼待ちリストに呼出し待ちがあったら、リスト順で自動的に接続する

・設定方法

点呼終了時に点呼待ちリスト順で自動的にクライアントと接続する場合、チェックを付けます。

■画面説明

- 『点呼終了時に、点呼待ちリストに呼出し待ちがあったら、リスト順で自動的に接続する』 : 点呼終了時に点呼待ちリストにクライアントが表示されている場合、リスト順でクライアントと自動的に接続します。

5. 設定する

●呼出し灯

呼出し灯

① ☒ クライアントからの呼出し時に、呼出し灯を鳴動する

IPアドレス ② 192.168.0.217

TCPポート ③ 10005

④ 呼出し灯鳴動テスト 開始

・設定方法

- ①呼出し灯を鳴動させる場合、チェックを付けます。
- ②IP アドレスを設定します。
- ③TCP ポートを設定します。
- ④[呼出し灯鳴動テスト 開始]ボタンを押すと鳴動テストができます。

■画面説明

『クライアントからの呼出し時に、呼出し灯を鳴動する』：クライアントからの呼出し時に、呼出し灯が鳴動します。

『IP アドレス』：呼出し灯の IP アドレスを設定します。

『TCP ポート』：呼出し灯と通信をする TCP ポートを設定します。

[呼出し灯鳴動テスト 開始] ボタン：呼出し灯の鳴動テストができます。テスト鳴動が成功するとボタンの表示が **呼出し灯鳴動テスト 停止** に変わります。

[呼出し灯鳴動テスト 停止] 時に押すと鳴動が停止します。

●点呼終了確認

点呼終了確認

☒ 点呼終了時に、点呼終了確認詳細画面を表示する

・設定方法

点呼終了確認詳細画面を表示する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『点呼終了時に、点呼終了確認詳細画面を表示する』：点呼終了時に点呼内容を確認するためのポップアップ画面を表示します。

◆点呼予定者リスト

点呼予定者リスト

☒ サーバー起動時に予定者リストを表示する

・設定方法

予定者リストを表示する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『サーバー起動時に予定者リストを表示する』：サーバー画面の横に予定者リストを表示します。

5. 設定する

●アラート設定

アラート設定

① ☒ 点呼予定者のアラートを表示する

アラート時刻 ② 点呼予定時刻
30分前 0分 30分後

③ ☐ ポップアップを表示する

④ ☒ アラート音を鳴らす

アラート音声ファイルの選択 C:\Program Files\TenkoPro2\alert_wav\alert11.wav

⑤ 選択 ⑥ 再生

・設定方法

- ①点呼予定者のアラートを表示する場合、チェックを付けます。
- ②スライダーをスライドさせてアラートの時刻を設定します。
- ③ポップアップを表示する場合、チェックを付けます。
- ④アラート音を鳴らす場合、チェックを付けます。
- ⑤〔選択〕ボタンを押して wav ファイルを設定します。
- ⑥「再生」ボタンを押すと選択したファイルの音声が鳴動します。

■画面説明

- 『点呼予定者のアラートを表示する』：予定者リストにアラートが表示されます。
- 『アラート時刻』：設定した時刻にアラートが表示されます。
- 『ポップアップを表示する』：設定時刻にポップアップ画面が表示されます。
- 『アラート音を鳴らす』：設定時刻にアラート音が鳴ります。
- 『アラート音声ファイルの選択』：アラート音に使用する wav ファイルを選択します。

●点呼済みデータの表示

点呼済みデータの表示

☒ 点呼済みのデータを表示する

・設定方法

点呼済みのデータを表示する場合、チェックを付けます。

■画面説明

- 『点呼済みのデータを表示する』：点呼済みのデータを予定者リストに表示します。

5. 設定する

◆他システム連動

他システム連動

☐ 点呼開始時にCSVを出力する

・設定方法

他システム連動用の CSV ファイルを出力する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『点呼開始時に CSV を出力する』：点呼開始時に他システムと連動するための CSV ファイルを点呼データ保存先に設定したフォルダ内の Joumu フォルダに出力します。

※ファイル名は YYYYMMDD_HHmmSS_ID.CSV 例：20170312_105823_511.CSV

◆交換機設定

■交換機とは

サーバーとクライアントの接続制御および予定表と質問事項の受信をおこないます。

クライアント側では交換機接続設定で設定をおこなうことにより、サーバーとの接続確認ができます。

交換機設定

サーバー ⇄ 交換機

①

☒ 1台で運用する
交換機IPアドレス 127.0.0.1

☐ 複数台で運用する
交換機IPアドレス
優先度高 192.168.0.1 優先度低

交換機の呼出方法 ☒ 順次呼出する ☐ 同時呼出する

②

交換機接続ポート 10002

交換機 ⇄ クライアント

接続受信ポート 10001

データ受付ポート ③ 10003

起動確認ポート 10004

・設定方法

①交換機の運用方法を設定し、IP アドレスを入力します。複数台運用時は、接続する IP アドレスの優先順と呼び出し方法も設定できます。

※複数台運用時、交換機の呼び出し方法が『同時呼出する』設定の場合、離席中ボタンの表示が使用できなくなります。(30 ページ参照)

②交換機の接続ポートを設定します。

③各ポートを設定します。

■画面説明

サーバー ⇄ 交換機 : 交換機(Relup)の IP アドレスの確認と接続ポートの設定をします。

交換機 ⇄ クライアント : 交換機(Relup)と通信をおこなう各ポートの設定をします。

●振り分け設定

- ・接続元拠点先の呼び出しを接続先サーバーへ振り分けします。
サーバーが点呼中の場合、空いている他のサーバーに接続します。すべて点呼中の場合、待機し、点呼が終了したサーバーへ接続します。

・事前確認

「複数台運用」（順次呼出し）の設定の場合、設定可能となります。

・設定方法

- ①【振り分け設定（クライアント ⇒ 交換機 ⇒ サーバー）】の新規追加ボタンを押します。

No.	接続元クライアント	優先接続先サーバー 1	優先接続先サーバー 2
-----	-----------	-------------	-------------

① + 新規追加

- ②振り分け設定ポップアップ画面が表示されます。

振り分け設定

接続元クライアント
☒ リスト選択 ③
☐ テキスト入力

優先接続先サーバー 1
☒ リスト選択 ③
☐ テキスト入力

優先接続先サーバー 2
☒ リスト選択 ③
☐ テキスト入力

OK キャンセル

- ③リスト選択もしくはテキスト入力のどちらかを選択し、設定します。

～リスト選択について～

接続元拠点名：接続元 IP アドレスのリスト選択ドロップダウンリストには【クライアント設定の接続先拠点登録リスト】の内容が表示されます。

接続先 IP アドレスのリスト選択ドロップダウンリストには【交換機 IP アドレス】の内容が表示されます。

※優先接続先サーバー1 は設定が必須となります。

④振り分け設定に反映されます。

振り分け設定 (クライアント ⇒ 交換機 ⇒ サーバー)

No.	接続元クライアント	優先接続先サーバー 1	優先接続先サーバー 2		
④ 1	デフォルト拠点 : 192.168.0.1	192.168.0.1		編集	削除

+ 新規追加

• 修正および削除方法

⑤振り分け設定の「編集」ボタンを押して修正、「削除」ボタンを押すと削除できます。

振り分け設定 (クライアント ⇒ 交換機 ⇒ サーバー)

No.	接続元クライアント	優先接続先サーバー 1	優先接続先サーバー 2		
1	デフォルト拠点 : 192.168.0.1	192.168.0.1		⑤ 編集	削除

+ 新規追加

⑥「編集」ボタンを押すと、再度、振り分け設定ポップアップ画面が表示されます。

⑥ 振り分け設定

接続元クライアント

☒ リスト選択 デフォルト拠点 : 192.168.0.1

☐ テキスト入力

優先接続先サーバー 1

☒ リスト選択 192.168.0.1

☐ テキスト入力

優先接続先サーバー 2

☒ リスト選択

☐ テキスト入力

OK キャンセル

5. 設定する

(9). クライアント設定

◆運用設定

●接続先拠点登録

運用設定

接続先拠点登録

接続先拠点登録リスト（最大15件）

No.	メイン	表示	接続先拠点名	IPアドレス	接続ポート	起動確認ポート	
1	☒	☒	デフォルト拠点	192.168.0.215	10001	10004	削除
2	☐	☒			10001	10004	削除

④ ③ ②

① + 新規追加

・設定方法

- ① [新規追加] ボタンを押して接続先拠点を追加します。
- ② 接続先拠点名、IP アドレス、接続ポート、起動確認ポートを設定します。
- ③ 接続確認画面に登録した拠点名を表示する場合、チェックを付けます。
- ④ メインの接続先とする拠点到チェックを付けます。

・修正および削除方法

- ⑤ 設定済みの拠点を押して修正、[削除] ボタンを押すと削除できます。

■画面説明

『接続先拠点登録リスト』：登録した接続先拠点が表示されます。

表示のチェックが付いている接続先が点呼時の接続確認画面に表示されます。

メインのチェックが付いている接続先が接続確認画面で先頭に表示されます。

接続確認画面を表示しない設定の場合、メインのチェックが付いている接続先に接続します。

[新規追加]ボタン：接続先拠点を新規追加します。

5. 設定する

●IT 点呼呼出し時の設定

IT点呼呼出し時の設定

① ☐ 点呼開始時に接続先を選択する
☐ 点呼開始時に乗務員名を確認する

接続音(start) ② 音量 ☒ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ その他の音声ファイルを使用する
C:\Program Files\TenkoPro2\tenko_start_max.wav ④ ⑤ 選択 再生

待機音(wait) ③ 音量 ☒ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ その他の音声ファイルを使用する
C:\Program Files\TenkoPro2\tenko_wait_max.wav 選択 再生

・設定方法

- ①各確認画面を表示する場合、チェックを付けます。
- ②接続音の音量を選択します。
- ③待機音の音量を選択します。
- ④接続音と待機音は「その他の音声ファイルを使用する」を選択している時に、[選択] ボタンを押して wav ファイルを設定します。
- ⑤接続音と待機音は「再生」ボタンを押すと選択したファイルの音声が発動します。

■画面説明

『点呼開始時に接続先を選択する』：点呼開始時に接続先確認画面を表示します。

『点呼開始時に乗務員名を確認する』：点呼開始時に IT 点呼開始確認画面が表示され、乗務員名を確認します。

接続音(start)：接続音に使用する wav ファイルを選択します。
音量は「大」「中」「小」「その他の音声ファイルを使用する」から選択できます。音量に合わせてファイルパスが変更されます。

待機音(wait)：待機音に使用する wav ファイルを選択します。
音量は「大」「中」「小」「その他の音声ファイルを使用する」から選択できます。音量に合わせてファイルパスが変更されます。

●点呼完了通知

点呼完了通知

☒ 点呼完了時に、完了通知ポップアップを表示する

・設定方法

点呼完了通知ポップアップを表示する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『点呼完了時に、完了通知ポップアップを表示する』：点呼完了時に完了通知ポップアップ画面を表示します。

5. 設定する

●複数台接続

複数台接続

① ☐ 複数サーバーに接続する

第1優先

第2優先

第3優先 ②

第4優先

第5優先

・設定方法

- ① [複数サーバーに接続する] にチェックを付けます。
- ② 優先順位を設定します。

■画面説明

『複数サーバーに接続する』：呼び出しの複数サーバーに接続するかどうかを設定します。
『呼び出し先の優先順位』：呼び出し先の優先順位を最大 5 か所まで、優先順位を設定します。

複数サーバーに接続するにチェックを付けると、接続先の拠点登録リストのメインのチェックは機能せずこちらの設定が優先されます。

●質問項目の同期

質問項目の同期

☐ 質問項目が設定されていなかったら、サーバー側の質問項目で点呼をおこなう

・設定方法

質問項目未設定時にサーバー側の質問項目を使用する場合、チェックを付けます。

■画面説明

『質問項目が設定されていなかったら、：全ての質問項目リスト（乗務前・中間・乗務後）に質問項目
サーバー側の質問項目で
点呼をおこなう』を設定していない場合に、サーバー側の質問項目を使用して
点呼をします。

5. 設定する

●他システム連動 CSV 出力

他システム連動CSV出力

① ☒ 他システム連動用にCSVを出力する

② ☐ 点呼者コードを出力する

・設定方法

- ①他システムと連携するために CSV を出力する必要がある場合、チェックを付けます。
- ②点名コードを出力する必要がある場合、チェックを付けます。

■画面説明

『他システム連動用に CSV を出力する』：点呼開始時に他システムと連動するための CSV ファイルを TenkoProData フォルダ内の TenkoDataCSV フォルダに出力します。

※ファイル名は Tenko_check.csv

『点名コードを出力する』：点呼執行者登録で登録した点名コードの出力を設定します。

◆交換機接続設定

交換機接続設定

① ☒ サーバーPCと定期的に通信確認する

送信確認先 ② デフォルト拠点: 192.168.0.215

送信間隔 ③ 5 分間

・設定方法

- ①サーバーPC と通信確認をする場合、チェックを付けます。
- ②送信確認先を設定します。
- ③送信間隔を設定します。

■画面説明

『サーバーPC と定期的に通信確認する』：交換機(Relup)を使用してサーバーPC と定期的に通信確認をします。

※サーバーPC のファイアウォールで Ping を許可する設定が必要です。

『送信確認先』：通信確認をする先の拠点を設定します。

※接続先拠点登録リストに登録している拠点が表示されます。

『送信間隔』：通信確認をおこなう間隔を設定します。

(10). 点呼予定者リスト作成

◆点呼予定者選択

・設定方法

- ①[読み込み]ボタンを押して ALC-Rec の乗務員データを読み込みます。
※乗務員リストの情報が正しい場合、読み込みをする必要はありません。
- ②年月日を入力、または  マークを押してカレンダーから予定日を設定します。
- ③時刻を設定します。
- ④点呼方法を設定します。
- ⑤乗務種別を設定します。
- ⑥行先を[登録]ボタンで登録、▼マークで選択します。
- ⑦車番を[登録]ボタンで登録、▼マークで選択します。
※行先、車番は選択部分に直接入力後に[追加]ボタン操作で点呼予定者リストに反映させることもできます。
- ⑧予定者リストに追加する予定者を選択します。
- ⑨[追加]ボタンを押すと点呼予定者リストに追加されます。
- ⑩ALC-Rec で設定している営業所名が表示されます。



点呼予定者選択

① 読み込みボタン

② 予定日: 2020年 4月27日

③ 予定時刻: 00 : 00

④ 点呼方法: IT

⑤ 乗務種別: 乗務前

⑥ 行先: 登録

⑦ 車番: 登録

⑧ 乗務員リスト

ID	氏名	所属
100	東海太郎	東海
200	東海次郎	東海

⑨ 追加ボタン

⑩ 東海テスト営業所

■画面説明

[読み込み]ボタン : ALC-Rec の乗務員情報を読み込みます。

『予定日』 : 乗務予定日を設定します。

『予定時刻』 : 乗務予定時刻を設定します。

『点呼方法』 : 点呼方法を設定します。

『乗務種別』 : 乗務種別を設定します。

『行先』 : 行先を設定します。

『車番』 : 車番を設定します。

乗務員リスト : 読み込んだ乗務員を表示します。
点呼予定者リストに追加する乗務員を選択します。

[追加]ボタン : 設定した条件で選択した乗務員を点呼予定者リストに追加します。

営業所名表示 : ALC-Rec で設定している営業所名を表示します。
登録が無い場合、登録無しを表示します。

5. 設定する

◆点呼予定者リスト

点呼予定者リスト ⑤

リスト初期化

No.	日付	時刻	ID	氏名	所属	乗務種別	点呼方法	行先	車番	
1	2020/04/27	05:00	100	東海太郎	東京	乗務前	IT	静岡	123	削除 ④
2	2020/04/27	12:00	100	東海太郎	東京	乗務後	IT	静岡	123	削除
3	2020/04/27	09:00	200	東海次郎	東海	乗務前	対面	東京	456	削除
4	2020/04/27	13:00	200	東海次郎	東海	中間	電話	東京	456	削除
5	2020/04/27	17:00	200	東海次郎	東海	乗務後	対面	東京	456	削除

送信先 ① ポート 10003 ② ③ 予定者リスト送信

・設定方法

- ①送信先を設定します。
- ②送信で使用するポートを設定します。
- ③[予定者リスト送信]ボタンを押します。

・リストの削除方法

- ④リストから一行削除する場合、[削除]ボタンを押します。
- ⑤リストを全て削除する場合、[リスト初期化]ボタンを押します。

■画面説明

- [リスト初期化]ボタン : 点呼予定者リストから全ての予定者を削除します。
- 点呼予定者リスト : 予定者リストに追加した予定者を表示します。
- 『送信先』 : 予定者リスト送信先を設定します。
- 『ポート』 : 予定者リスト送信に使用するポートを設定します。
- [予定者リスト送信]ボタン : 予定者リスト送信先に予定者リストを送信します。



東海電子株式会社

本社 〒419-0201 静岡県富士市厚原 247-15

<http://www.tokai-denshi.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

サポートセンター

〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-13

オリンピック第3ビル 203号室

TEL : 0120-609-100

FAX : 042-526-0906

support-alc@tokai-denshi.co.jp

Printed in Japan 202005(01)